

航空機操縦士養成連絡協議会 航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会

裾野拡大ワーキンググループ 平成29年度とりまとめ

1. ワーキンググループ構成員

別紙のとおり

2. 平成29年度における取組み

(1) 航空に係る共通ウェブサイト s k y w o r k s について

今年度についてはコンテンツ内容の更なる充実のためヘリコプターに関する職種の紹介ページを整備し平成29年8月末に開設した。

多種多様な情報を発信しているところではあるが、掲載されているイベント等の数はまだ少なく内容の充実を図るため情報提供が求められる。また、s k y w o r k s 自体の認知度についても向上を図る必要があるが、s k y w o r k s の管理者及び運営者のみでは限りがあるため、両協議会員においても、引き続き本ウェブサイトの有効利用への助力が求められる。

(参考)

○トータル閲覧数 約13万件（平成30年2月14日現在）

うち、平成29年度（2月中旬現在）の閲覧数 約5.5万件

(2) 現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会の開催

両協議会が連携し、一般社団法人日本女性航空協会協力の下、開催された「航空教室（女性限定）特別版 Yes I Can!」について、今年度は12月3日にヘリコプター部会とも連携し女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による仕事の紹介、講演、グループディスカッションが行われ40人超の参加があった。

(3) 航空機産業人材確保に関する取組み

経済産業省（中部経済産業局）において、航空機産業に関心のある若手人材を発掘し、仕事の理解促進や職業意識の醸成を図り、航空機関連企業等の将来的な人材確保支援を図った。具体的には、(独)国立高等専門学校機構及び地域の高等専門学校と連携し、学生を対象に航空宇宙関連企業等からの講師による、航空宇宙先端技術分野に

係る特別講義を5回に亘り実施し、同機構のTV会議システムを活用して関心のある全国14高専へ配信した。また、ウェブサイト等を通じてインターンシップ受け入れ実施企業の情報を発信した。

(4) 子ども霞が関見学デーへの協力

平成29年8月2日及び3日の二日間に渡り開催された国土交通省における「子ども霞が関見学デー」において、JAPPAやJAEA、全航連をはじめ航空会社が協力し、現役操縦士・整備士・客室乗務員による仕事紹介やフライトシミュレーター体験など、裾野拡大につながる取組みを行った。

(5) 各航空会社における取組み

各航空会社において全国各地における航空教室の実施や工場見学、空の日への参加等様々なイベントを通じ裾野拡大に係る活動を実施した。

4. 平成30年度における取組み

平成30年度においては、今年度実施した取組みに関し、子ども霞が関見学デー、航空教室（女性限定）は計画・実行することとしたい。また、航空機産業人材確保に関する取組みでは、(独)国立高等専門学校機構と連携する航空宇宙先端技術分野に係る特別講義について、引き続き進めていく。その他の取組みについても関係機関と連携しつつ、可能な限り継続して実施されることが望ましい。また、両協議会事務局からその他裾野拡大に関する取組みについて協力依頼があった場合は、引き続き関係者の積極的な協力が期待される。一方で、協議会員各位においても、裾野拡大に関する取組みを検討する上で、個社での実施が難しい場合は他の会員に協力を要請したり、協議会事務局へ相談したりするなど、相互に協力して取組むことも想定される。

5. 平成30年度以降の進め方

(1) 裾野拡大ワーキンググループについて

裾野拡大ワーキンググループは平成30年度以降も存続する。ただし、これまで実施してきた取組みについては、関係者のご尽力により自発的に取組まれており、今後もそれぞれが継続していく形となっていることを鑑み、別途開催する必要があると判断した場合に開催するものとする。なお、ワーキンググループは各協議会の取組みの内容により、協議会ごとに開催する場合も想定される。

<<添付資料>>

- ・ 裾野拡大ワーキンググループ平成29年度とりまとめ参考資料
- ・ 裾野拡大ワーキンググループ構成員名簿